

— 地域ビジョン —

顔が見える交流を広げ、自分たちで「住みたいまち」をつくる！



鶴見・南立石・東山 ひとまもり・まちまもり協議会

お問い合わせはお住まいの地域の自治会長または、tsurumi.minami.higashi11@gmail.com まで



「ひと・まち」ではこんな取り組みをしているよ！



農業体験

11月の芋ほり・椎茸狩り体験には、圏域内の小学1年生の児童と関係者約170名が参加しました。
芋ほりは、残念ながら鳥獣被害により交流会での配布となりましたが、掘りたての芋を手にとることができました。また、地元農業者から椎茸や芋の美味しい食べ方の説明を受けました。
後日、子どもたちから感謝の集いを開催してもらい、お礼の手紙を受け取るなど更なる交流に繋がりました。



大きな椎茸を
上手に収穫できたよ

ひと・まちってなあに？

鶴見・南立石・東山ひとまもり・まちまもり協議会（略して「ひと・まち」）は、令和3年4月に発足し、青山中学校区、東山中学校区内の地域住民が協力し、主体的に地域づくりを行う地域コミュニティです。
18町の自治会、民生児童委員、社会福祉協議会、包括支援センター、小・中学校など様々な団体が連携して、地域のために様々な活動や事業に取り組んでいます。

地域ビジョン策定

地域の未来を考え、本協議会の活動指針となる「鶴見・南立石・東山ひとまもり・まちまもり協議会地域ビジョン」を策定しました。



人材育成・視察研修

9月に福岡県大野城市「南地区コミュニティ運営協議会」の視察研修を行いました。
先進地である南地区コミュニティ運営協議会の取り組みや意見交換会で学んだことを、今後のひと・まちの活動に活かして行きたいと思います。



視察先での意見交換会



コミュニティセンター内での野菜等の直売

掲示板の設置

ひと・まちや地域行事の広報のため、古くなった地域の掲示板を令和6年度は6か所更新し、これまでに計11か所の整備ができました。
暴風雨の際に掲示物が取れてしまうのを防ぐため、カバー付きで見やすくなりました。



地域行事や町内のお知らせなどを掲示しているので是非ご覧ください。

防災講話・防災イベント

2月に、「能登半島地震の経験から学ぶ、地域防災の重要性」と題しての防災講話、また、避難所運営ゲーム「HUG」の机上訓練を、ホテル別府パストラルで開催しました。
当日は各地区より約45名が参加し、防災講話では、具体的な経験に基づく被災地の状況を学ぶことができました。
また「HUG」では、実際に避難所で起こりうる様々な事象への対応を検討し、避難所運営の難しさを認識することができました。



避難所運営の訓練にも熱を帯びる



貴重な体験談に耳を傾ける参加者

認知症勉強会

12月に、認知症勉強会をホテル別府パストラルで開催し、各地区より約70名の参加がありました。VR（バーチャルリアリティ）を活用した認知症当事者の疑似体験や、「食」と「認知症予防」についての講話が行われました。
また、野菜摂取量を測定できる検査機器「ベジチェック」を体験し、多くの方が野菜不足であることを認識しました。



VRのゴーグルを装着して認知症を疑似体験中



休憩所の設置

誰でも気軽に利用できる休憩所としてこれまでに計19か所、ベンチを整備しました。
令和6年度は、今までに設置したベンチの点検や清掃を行いました。また、令和7年度に向けて新たに設置できる場所等の調査を行いました。

みなさん是非ご利用ください！



百花村温泉前



荘園町のオリーブ前